

新田の民の矜持 !!

昨年度、間伐と整備を続け、3月に八幡神社周辺に植樹したヤマツツジは、4月半ばに一斉に開花しました。八幡坂を散歩する地元の方々も朱赤色の花を温かく見守ってくださいました。

今年度最初の里山活動は、5月12日（日）、吉岡中学校で総会が開かれました。今年も引き続き、ヤマツツジの植栽を続けます。ご理解、ご協力を宜しくお願いいたします。

さて、八幡坂のS時カーブを登り切ると石碑が建っています。原の開墾（かいこん）と八幡坂の改良の経緯を記した『開墾碑』です。旧漢字に四苦八苦しながらも、碑文を読み取りました。そこからは、先人の念（おも）いと矜持（きょうじ：内なる誇り）を感じることができました。

ざっと、こんなお話です。新田の村は、かつて人々から見放されていた原野を、江戸時代の初・中期に切り拓（ひら）いてできた村です。耕地は狭く、その拡大は区民の悲願でした。今から95年程前、昭和の恐慌（きょうこう）で農村は皆苦しんでいました。平塚新田と原新田の民は意を決して、食糧増産の国の施策（しやく）の下、県の助成を受け、昭和5年（1930年）から一年間、地区民総出で原（はら：吉中周辺の台地）の山林を開墾（かいこん）し、約8.5haの新畑を切り拓きました。昭和8年には、それまでは直線だった八幡坂を、荷車やリヤカーが通りやすいように幅3m側溝付きのS字型の新道に改修しました。

明治に誕生した吉岡村は、江戸時代の5つの村が合併してできました。大字（おおあざ）は、江戸時代の村です。『新編武蔵風土記稿』に依（よ）れば、江戸時代後期、5村の戸数は右表の通りです。新田は「捨地ナリ」、確かに平塚の地は砂利（じゃり）だらけ、原の地は水の確保に難儀する。その原野を切り拓いていったご先祖様の開拓者魂が、苦難の時に発揮されました。重機のなかった時代、斧（おの）や鋸（のこ）で木を切り倒し、唐鍬（とうぐわ）や円匙（えんぴ）で根を掘り出し、畚（もっこ）で運ぶ住民総出の人海戦術が想像されます。小生の婆（ばあ）ちゃんは、明治35年生まれ、小柄で華奢（きゃしゃ）、利発な人でした。当時28歳、童子2人を育てながら、身重（みおも：妊娠中）の体でこの作業に参加したと、小さいときに聴きました。墓所に小さなお地藏様があります。そこには、昭和8年没2歳と昭和17年没7歳の童子の銘が刻まれています。そうか、この子だったんだと合点（がてん）しました。今は天国で、婆ちゃんと楽しく過ごしているんだろうと想いました。

碑文の最後はこう結ばれます。「幾多難問ヲ克服シ事業断行ヲ回顧シ延々連ナル新畑ヲ眺メ聊カ其先見ヲ喜ブモノナリ～碑ヲ建開興者一同ノ氏名ヲ録シ以テ後昆ニ伝ヘントス」と。青空の下、杜（もり）に開かれた新畑を眺める農民の姿とその心中が目に浮かぶようです。これぞ、新田の民の矜持（きょうじ：内なる誇り）です。

次回活動日

6月9日(日) 9:00～

里山整備作業予定(吉岡中駐車場集合)

さて、今の時代を生きる私達は、何を遺（のこ）し、何を「後昆（こうこん：後生の子孫）ニ伝ヘン」かな……。



2024/04/21
満開のヤマツツジ



八幡様のヤマツツジ

江戸期の村	戸数	合併①	合併②
万吉村	170余	1889 明治22年 吉岡村	1910 明治43年
村岡村	70		
平塚新田村	47	楊井村	吉岡村
和田村	36		
原新田村	10		

(表) 原・八幡坂 開墾碑文

埼玉県大里郡吉岡村平塚新田ノ地ハ往昔近郷各地ノ捨地ナリト謂フ從テ耕地狭
 少ニシテ之レガ拡張ハ住民ノ積年熱望セシ象ナリ昭和初頭ノ頃農村經濟ハ不況
 ヲ極メ挙国其ノ救済ヲ絶叫セリ政府ハ耕地整理其他各種事業ノ助成ヲ対策トシ
 テ発表ス時ニ村議堀保造有志関口富三中島市郎氏等主唱ノ下ニ区民ハ村長小野
 澤市郎氏ノ協力ヲ得テ国策ニ順応シ字前原山林ヲ開キ整理ヲ施行シ失業救済ヲ
 併テ多年ノ懸案タル農地拡張問題ノ解決ヲ企画ス即チ昭和五年一月十三日関口
 富三中島市郎代表者トナリ監督補助ヲ本県知事ニ申請二十四日聴届三月五日組
 合ヲ設立シ二十四日認可ヲ受ケ事業ヲ開始ス越テ昭和六年二月大字楊井字北耕地
 ノ一部ヲ編入施行総面積八町四反八畝余歩ニ及ブ助成金貳千五百七拾四円ヲ
 受ケ工事ヲ完成セリ昭和八年八月小設備改良事業トシテ金壹千貳百五拾円ノ交
 付ヲ得テ延長貳百六拾米幅參米側溝百參拾米ニ達スル耕作道ヲ改修シ新耕作地ニ
 對シ所謂点晴ヲ施シタリ今ヤ非常ノ時局ニ際シ食糧増産ハ祖国再建ノ鍵ニシ
 テ耕地ノ拡大ハ極メテ切ナシ秋此ノ耕地ノ真価又識ルベキナリ幾多難問ヲ
 克服シ事業断行ヲ回顧シ延々連ナル新畑ヲ眺メ聊力其先見ヲ喜ブモノナリ有志
 相謀リ茲ニ碑ヲ建開興者一同ノ氏名ヲ録シ以テ後昆ニ伝ヘントス
 昭和二十二年四月十五日
 堀保造撰
 小林鶴峯書

(補足) 往昔(過ぎ去った昔) 狭少(狭小..狭く小さい) 象(すがた、かたち、
 ありさま) 町・反・畝(尺貫法の面積の単位..10畝が一反・10反が一町、一町はm法
 の約一ha) 米(メートル) 開興(ひらく・おこす) 後昆(後世の人、子孫)
 *昭和初期の一円は今の700~800倍?

(裏) 開墾耕地整理道路改修関係地主組合員

- ・ 平塚新田地主名
- ・ 平塚新田共有地管理者
- ・ 原新田地主名
- ・ 旧原新田八幡神社跡地所有者
- ・ 市田村地主名
- ・ 村長・区長以下組合員組織



開墾碑

生前の姿を知らない
爺ちゃんと曾爺ちゃん
2人の名前を見つけました



八幡坂のカーブ

「吉岡里山だより」アンケートの回答

2024 年 5 月 12 日

2021 年度 (R3) の定期総会で、里山の活動を地域の皆様により広く知っていただく為に、広報活動を行うとよいとの意見が出され、「吉岡里山だより」を発行しています。モノクロ版を自治会の回覧板で地域の皆様に広報し、PDF カラー版を希望者と自治会連合会事務局に送信しています。また、中学校では、カラー版を掲示し、「学校だより」でも里山活動を紹介していただきました。経費は、紙、インク代等で 1 万円程を計上しました。

昨年度は、①写真撮影を中学生や大学生に依頼しました。②モノクロ版印刷は中学校のご協力をいただきました。③活動記録と共に、季節感を大切にして、「環境」や「地域」の視点からテーマやエピソードを設定し、新聞記事等を紹介しました。

今までも、皆様の感想や意見、要望やアイデア等を紙面作りに生かさせていただきましたが、どうしても「裸の王様」にならないかとの懸念が残ります。発行から 3 年、その内容や効果、意義等を検証し、今後に生かせればと思います。

よりよい里山活動のため、下記のアンケートにご協力ください。

Q1 今後の「吉岡里山だより」発行について、どちらかにし点を付けてください。

 発行した方がよい 15

 見合わせた方がよい 1

Q2 昨年度「吉岡里山だより」Vol.14～21の感想や意見を記述してください。

- ・とても良い。
- ・良く出来ています。
- ・多方面からの視点で、地元の紹介 etc.、大変暮らしの中で参考になります。
- ・現地の写真をはじめ、イラストも含めて、たいへんわかりやすい紙面であると思います。多くの方によく見ていただきたいと思います。
- ・内容がいっぱい、後でゆっくり読ませていただきます。ありがとうございます。
- ・ツツジを優先した生態整備が他の植物の生育の負にならないかなと、考察を入れていますね。
- ・PRありがとうございます。発信頑張ってください。
- ・カラーの方が見やすいと思う。
- ・活動の記録を写真付きで残すことで、後年、この土地に暮らす人々がどのように里山を守ってきたかということをお言葉のみでなく伝えていくことができ、大切だと思っております。
- ・毎回楽しみに見させていただいています。歴史や知識、楽しいです。
- ・今まで通りで十分です。大変ありがとうございます。
- ・3年前から実際に発行しているとのことですが、是非とも充実させながら発行をよろしく願います。予算も限られていると思いますが、活動で広報活動は非常に大切なことだと思います。
- ・勉強になります、ありがとうございます。

Q3 本年度の「吉岡里山だより」がより良いものとなるよう、要望やアイデアなどを記述してください。

- ・今後の活動を期待しています。
- ・遊歩道の整備を提案します。
- ・ホームページができれば…、大変ですけど。
- ・この活動が吉岡の里山全体に広がることを、願っています。
- ・里山にツツジの植樹はいつ頃（今年の様子、時期、咲いている状況カラー）で、次年度は是非見に行きたいので、その情報提供をお願いします。2月、3月頃の広報（里山だよりで宣伝）かと思っています。
- ・吉岡中学校のホームページに入れてもらったらどうでしょうか。PDF版をHPで見られるように。（中学校の協力を要す。）